

令和2年度 臨時 西淀川区地域福祉推進会議議事要旨

令和3年1月20日
午後6時30分～8時
区役所5階会議室

出席委員

15名

助言者 鈴木大介さん（大阪成蹊短期大学幼児教育学科准教授）

事務局 区役所 林保健福祉課長、岡地保健福祉課長代理、貴多保健福祉課担当係長
区社協 佐藤事務局長、西川地域支援担当主査

1. あいさつ

職務代理 池田恭和

2. 具体的な取り組みについて

【説明】

- 地域福祉推進会議 部会について（資料2）
- 各委員は4つの部会のどれかを選んで参画いただく
- 「福祉語ろう会」について（資料3）
- 「ちよこっとボランティアポンと制度」について（資料4）
- 「にしよどウエルカムバンク～ウエルカムな気持ちを預けるバンク～」
について（資料5）
- 「となりのお節介さん」について（資料6）

【グループワーク】

• 福祉語ろう会

メンバー：4人

議論内容：地域活動協議会での開催については、難しさも多く進めていくには時間がかかるので①・②を並行して開催してくことも検討する

- ① 一般の人にテーマを決めて議論するイベントを開催
- ② 地域活動協議会での開催

• ちよこっとボランティア

メンバー：5人

議論内容：1年目は施設、2年目は個人のニーズなど聞き取りが必要

個人のニーズに対応するときにはUberEatsのようにボランティアさんがどんな活動をしているのかなど登録の見える化が必要で、そうすることで安心して利用できる。

ポイントは「に～よん通貨」「ふくふ君通貨」など地域通貨もあり。スーパーやコンビニで使えたら、活動者がひろがるのでは？

若い子どもの力も巻き込みたいので、長期休暇などの期間を利用し、子どものプログラムも検討する

• ウェルカムバンク

メンバー：4人

議論内容：区内でどのような相談があるのかの共有。8割は言葉の問題。

子どもは学校や保育所等で把握できる。そこから親の把握につなげる。

イベントを行いそこで親しくなりお困りごとを把握する。

転入者セットや区のHP等で周知する

色々な関係者に話を聞きながら進めていく。

• となりのお節介さん

メンバー：3人

議論内容：メンバー間（団体や個人）の普段の「ささえあい活動」の共有。

地域で活動している色々な人のお節介（支え合い活動）を聞く場所の設定

や、そこでの事例の紹介（見える化）や発信をしていくことも必要

• 鈴木先生からのコメント

活動に対して「信用」を作っていくのがキーワードの取り組みである

活動している人や機会に対する信用をどう作っていくのか、進め方や枠組みを作っている

ところに、信用をつけていく方法や信用の見える化をどう工夫していくか

福祉語ろう会でのディスカッションの内容をどうフィードバックしてくか、語った人たち

で進める仕組みなど、そのあとの信用を広げていくことも必要

すでにある活動の良い部分を見える化して、それを浸透させ、4つの取り組みをキーワ

ードの「おもしろい仕掛け」をどう工夫していくか

3. あいさつ

• 職務代理：池田恭和

• 西淀川区保健福祉課長：林敬二

• 西淀川区社協事務局長：佐藤茂忠

4. その他

• 動画の撮影について（令和2年1月30日に撮影）

次回日程

日時：令和3年3月23日（火）午後6時30分～

場所：区役所5階会議室

